

平成28年12月期 第2四半期連結業績 補足資料

(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

平成28年8月10日

井関農機株式会社

1. 連結第2四半期損益

(億円、%)

	27/12期 第2四半期 調整後ベース※1	28/12期 第2四半期 実績	前年同期比増減 (調整後ベース)		28/12期 第2四半期 累計予想	予想比 増減
			金額	率		
売上高	763	810	+47	+6.2	830	△20
国内	601	613	+12	+2.0	648	△35
海外	162	197	+35	+21.8	182	+15
売上総利益	232	233	1	+0.3	239	△6
粗利率	30.5%	28.8%	△1.7%	—	28.8%	0
販管費	226	216	△10	△4.6	225	△9
営業利益	6	17	+11	+174.6	14	+3
金融収支	△3	△3	0	—	△3	0
他営業外	3	△1	△4	—	2	△3
経常利益	6	13	+7	+107.0	13	0
特別利益	4	10	+6	—	1	+9
特別損失	△4	△13	△9	—	△2	△11
税前四半期純利益	6	10	+4	+68.7	12	△2
税、税調整額他		△4	—	—	△5	+1
親会社株主に帰属する 四半期純利益		6	—	—	7	△1

(売上内訳)

(億円)

	27/12期 第2四半期 調整後ベース※1	28/12期 第2四半期 実績	前年同期比 (調整後ベース)		28/12期 第2四半期 累計予想	予想比 増減
			増減			
農機製品	291	282	△9		314	△32
作業機	96	106	+10		102	+4
補修用部品	63	66	+3		65	+1
修理収入	22	24	+2		24	0
農機関連計	472	478	+6		505	△27
施設工事	14	28	+14		26	+2
その他	115	107	△8		117	△10
国内計	601	613	+12		648	△35
北米	62	64	+2		56	+8
欧州	66	62	△4		70	△8
中国	9	22	+13		21	+1
アセアン	3	21	+18		7	+14
その他	10	12	+2		13	△1
製品計	150	181	+31		167	+14
補修用部品	10	10	0		15	△5
その他	2	6	+4		0	+6
海外計	162	197	+35		182	+15
売上高計	763	810	+47		830	△20

※1 「27/12期第2四半期調整後ベース」は、28/12期と比較するため対象期間を同期間に調整しております。詳しくはP2<ご参考資料>をご覧ください。

1) 売上高

・国内売上高 613億円 (前年同期比+12億円、予想比△35億円)

前年同期比では、農機需要回復の足取りが重く、農機製品で△9億円となったものの、農機関連の作業機、部品、修理収入の増加により、農機関連全体では+6億円。施設工事+14億円。その他△8億円。全体で+12億円。
予想比では、農機需要が低調に推移し、農機製品が△32億円と予想を下回り、全体で△35億円。

・海外売上高 197億円 (前年同期比+35億円、予想比+15億円)

北米市場は、コンパクトトラクタを中心に堅調で前年同期比+2億円。予想比+8億円。
欧州市場は、天候不順の影響による芝刈機の減少などにより、前年同期比△4億円、予想比△8億円。
中国市場は、市場回復に伴う田植機半製品の出荷増や今年度から本格販売したトラクタの半製品出荷増により前年同期比+13億円。
アセアンは、インドネシアやタイ向けトラクタの出荷増で前年同期比+18億円。予想比では、インドネシア政府入札の獲得により+14億円。
なお、為替円高による影響は海外売上高全体で、前年同期比△4億円。予想比△5億円。

2) 営業利益・経常利益

・営業利益 17億円 (前年同期比+11億円、予想比+3億円)

増収による粗利益の増加が、為替円高による影響や売上構成の変化に伴う粗利率の悪化をカバーしたことに加え、人件費の削減やローコストオペレーションの徹底による固定費の圧縮で前年同期比+11億円。
予想比では、減収による粗利益減少を固定費圧縮でカバーし、+3億円。

・経常利益 13億円 (前年同期比+7億円、予想比±0億円)

為替差損計上等があったものの、営業利益の増益が寄与し前年同期比+7億円。予想比でも、為替差損計上等があったが、営業利益の増益により、予想通り。

3) 税前利益・四半期純利益

・税前利益 10億円 (前年同期比+4億円、予想比△2億円)

熊本地震に伴う災害損失11億円の特別損失計上があったものの、有価証券売却益10億円の特別利益計上や前期における課徴金計上がなくなったこと等により、前年同期比+4億円。
予想比では、投資有価証券売却益計上、および災害損失計上により△2億円。

・四半期純利益 6億円 (前年同期比 -、予想比△1億円)

四半期純利益は、ほぼ予想通り。

2. 平成28年12月期 業績予想の修正

平成28年2月12日に公表しました平成28年12月期通期業績予想を下記の通り修正しました。なお、配当予想につきましては、修正しておりません。

- 国内売上高は、当第2四半期における業績の進捗等を踏まえ、当初予想比35億円の減額修正をしております。
- 海外売上高は、為替円高による売上高減少を、中国向け田植機半製品の出荷や、アセアン市場でのトラクタ売上拡大によりカバーし、当初予想通りの売上を見込んでおります。
- 利益面では、国内売上を減額修正したことや為替円高による減益要因があるものの、ローコストオペレーションの徹底により、経費、固定費の圧縮が進んでいること等から、営業利益以下の予想につきましては、変更しておりません。

【平成28年12月期通期連結業績予想】

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(億円)

	27/12期通期 調整後ベース※2	当初 業績予想	今回 業績予想	前期比 増減	当初予想 比増減
売上高	1,568	1,650	1,615	+47	△35
国内	1,254	1,313	1,278	+24	△35
海外	314	337	337	+23	—
営業利益	2	35	35	+33	—
経常利益	4	32	32	+28	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		19	19		—

* 下期想定為替レート：対米ドル105円（120円から変更）
対ユーロ115円（130円から変更）

【平成28年12月期期末配当予想】

1株当たり1.5円～3円の期末配当を予定しております。

※2「27/12期調整後ベース」は、28/12期と比較するため対象期間を同期間に調整しております。詳しくは<ご参考資料>をご覧ください。

以上

<ご参考資料>

前期実績との業績比較について（平成27年12月期調整後ベースとの比較）

- 当社は、平成27年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更いたしました。経過期間の平成27年12月期は9ヶ月の変則決算となっていることから、業績比較については財務報告の対象期間を平成28年12月期と同期間とした調整後ベース実績を使用しております。
- なお、フランスの子会社のみ9月末決算となっております（第2四半期では、10～3月を計上）。

1. 第2四半期実績の業績比較

■財務報告ベース

- 平成27年12月期：旧3月決算会社：4～9月、12月決算会社：1～6月
- 平成28年12月期：旧3月決算会社：1～6月、12月決算会社：1～6月

	平成27年12月期				平成28年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
a. 旧3月決算会社 井関農機 他								
b. 12月決算会社 国内販売会社 他								

■調整後ベース

- 平成27年12月期：旧3月決算会社：1～6月、12月決算会社：1～6月
- 平成28年12月期：旧3月決算会社：1～6月、12月決算会社：1～6月

	平成27年12月期				平成28年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
a. 旧3月決算会社 井関農機 他								
b. 12月決算会社 国内販売会社 他								

2. 通期業績予想における調整後ベースについて

■財務報告ベース

- 通 期：旧3月決算会社：4～12月、12月決算会社：1～12月

■調整後ベース

- 通 期：旧3月決算会社：1～12月、12月決算会社：1～12月

以上